
2012年度 決算説明会

2013年5月10日



三菱ガス化学株式会社

本日の出席者

取締役社長

酒井 和夫

機能化学品カンパニープレジデント

倉井 敏磨

天然ガス化学品カンパニープレジデント

酒井 幸男

特殊機能材カンパニープレジデント

渡邊 哲志

芳香族化学品カンパニープレジデント

山根 祥弘

財務経理センター長

佐藤 康弘

目次

1. 2012年度 業績について … p 4 ~ 9
2. 2013年度 見通しについて … p 10 ~ 12
3. セグメント別 比較 … p 13 ~ 21
4. MGC Will2014 新規事業の創出 … P 22
5. 参考資料 … p 23 ~ 25

連結 2012年度 実績

【単位:億円】

	2012年度	2011年度	増減	増減率
売上高	4,679	4,522	157	3.5%
営業利益	114	90	23	25.7%
(持分法利益)	(190)	(205)	(▲ 14)	(▲ 7.2%)
経常利益	276	261	15	5.9%
税前利益	97	254	▲ 157	▲ 61.8%
当期純損益	▲ 77	123	▲ 201	-

- 売上高は、電子工業用薬品やポリカーボネートの数量増加や、メタノールの販売価格が堅調に推移し、増収。
- 営業利益は、子会社の損益が総じて悪化も、電子工業用薬品の数量増加や、減価償却方法の変更などにより、増益。
- 持分法利益(海外メタノール生産会社などの業績)は前期を下回るも、営業利益の増加により、経常利益は増益。
- 事業構造改善費用や繰延税金資産の取崩により、▲77億円の当期純損失を計上。
- 年間配当金は前期と同額(12円/株)を維持。

【単位:円/株】

1株当たり 当期純損益	▲ 17.25	27.28
年間配当金	12.0	12.0

※ 本頁以下に記載されている数値は、金額表示は単位未満切り捨て、%表示は単位未満四捨五入で表記しております。

セグメント別 連結 2012年度 (実績)



【単位:億円】

	2012年度			2011年度			増 減		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上高	2,327	2,351	4,679	2,300	2,221	4,522	27	130	157
天然ガス系化学品	812	805	1,618	777	822	1,599	34	▲ 16	18
芳香族化学品	651	650	1,301	684	587	1,271	▲ 32	62	29
機能化学品	651	674	1,325	602	618	1,221	49	55	104
特殊機能材	264	267	532	282	236	518	▲ 17	31	14
その他	3	5	9	4	5	9	▲ 0	0	0
消去または全社	▲ 55	▲ 52	▲ 108	▲ 49	▲ 48	▲ 98	▲ 6	▲ 3	▲ 9
営業利益	39	74	114	75	15	90	▲ 35	59	23
天然ガス系化学品	▲ 6	24	17	4	▲ 0	3	▲ 10	25	14
芳香族化学品	▲ 6	13	7	7	▲ 17	▲ 10	▲ 13	31	17
機能化学品	44	24	69	37	37	75	7	▲ 12	▲ 5
特殊機能材	20	21	41	34	3	37	▲ 13	17	4
その他	1	2	3	2	0	2	▲ 0	1	0
消去または全社	▲ 14	▲ 11	▲ 25	▲ 10	▲ 7	▲ 18	▲ 3	▲ 4	▲ 7
(参考)									
持分法利益	99	91	190	104	101	205	▲ 4	▲ 10	▲ 14

セグメント別 連結 2012年度(四半期実績推移)



【単位:億円】

	2012年度				2011年度			
	第4四半期	第3四半期	第2四半期	第1四半期	第4四半期	第3四半期	第2四半期	第1四半期
売上高	1,186	1,164	1,173	1,154	1,088	1,133	1,147	1,153
天然ガス系化学品	435	370	402	409	393	428	360	417
芳香族化学品	335	315	324	326	286	301	361	322
機能化学品	318	356	341	310	310	308	314	287
特殊機能材	123	144	131	133	116	119	131	150
その他	3	2	1	1	2	2	2	1
消去または全社	▲ 28	▲ 23	▲ 28	▲ 26	▲ 22	▲ 26	▲ 22	▲ 26
営業利益	19	55	28	11	▲ 1	16	19	55
天然ガス系化学品	8	15	3	▲ 9	0	▲ 1	▲ 2	6
芳香族化学品	6	7	▲ 1	▲ 4	▲ 10	▲ 7	1	6
機能化学品	1	22	28	16	15	22	12	24
特殊機能材	6	15	11	8	1	2	12	21
その他	1	0	0	0	0	▲ 0	1	0
消去または全社	▲ 4	▲ 7	▲ 14	0	▲ 8	0	▲ 6	▲ 4

(参考)

持分法利益	39	52	45	53	43	57	53	50
-------	----	----	----	----	----	----	----	----

連結 2012年度 営業外損益・特別損益



【単位：億円】

	2012年度	2011年度	増減
営業外損益	162	170	▲ 8
持分法投資損益	190	205	▲ 14
金融収支	▲ 10	▲ 3	▲ 6
その他	▲ 17	▲ 31	13
特別利益	3	13	▲ 10
受取保険金	1	12	▲ 10
その他	1	1	0
特別損失	▲ 182	▲ 19	▲ 162
事業構造改善費用	▲ 154	-	▲ 154
投資有価証券評価損	▲ 10	-	▲ 10
支払補償引当金繰入額	▲ 8	-	▲ 8
環境改善対策費用	▲ 5	▲ 4	▲ 0
訴訟関連損失	▲ 1	▲ 1	▲ 0
固定資産処分損	▲ 1	-	▲ 1
減損損失	▲ 0	▲ 0	0
貸倒引当金繰入額	-	▲ 6	6
災害による損失	-	▲ 5	5

- 高純度イソフタル酸/メタキシレンの製造設備や海運子会社の船舶減損など、事業構造改善費用として154億円を計上。
- 上場株式の投資有価証券評価損として、10億円を計上。
- 技術供与契約に基づき、支払補償金8億円を引当計上。

(注)本表の増減は対損益増減を示しております。

連結 2012年度 貸借対照表



【単位：億円】

	2013年3月末	2012年3月末	増減	メモ
流動資産	2,613	2,540	73	
現預金	288	274	14	
売掛債権	1,278	1,220	57	
棚卸資産	880	760	119	製品在庫の増加(ポリカーボネート、高純度イソフタル酸など)
その他	166	284	▲ 118	繰延税金資産：▲83億円
固定資産	3,525	3,412	112	
有形・無形固定資産	1,988	1,944	43	
投資有価証券	1,467	1,329	138	
その他の資産	69	138	▲ 69	
資産合計	6,139	5,952	186	
負債	3,190	3,031	158	
買掛債務	739	694	44	
有利子負債	1,826	1,851	▲ 25	
その他	624	485	139	繰延税金負債：81億円
純資産	2,948	2,921	27	
株主資本	3,013	3,146	▲ 132	利益剰余金：▲132億円
その他	▲ 64	▲ 224	160	為替換算調整勘定：101億円
負債・純資産合計	6,139	5,952	186	

自己資本比率
2013年3月末：46.2%
2012年3月末：47.3%

連結 2012年度 キャッシュフロー計算書



【単位:億円】

	2012年度	2011年度	増減
営業キャッシュフロー	311	373	▲ 61
税前利益	97	254	▲ 157
減価償却費	230	277	▲ 46
持分法投資損益	▲ 190	▲ 205	14
持分法適用会社からの配当金受取額	179	182	▲ 2
事業構造改善費用	154	-	154
運転資金等	▲ 116	▲ 82	▲ 34
法人税等支払額	▲ 43	▲ 53	10
投資キャッシュフロー	▲ 308	▲ 372	64
設備資金	▲ 296	▲ 342	46
投融資資金等	▲ 11	▲ 29	18
財務キャッシュフロー	▲ 143	▲ 98	▲ 44
借入金・社債増減等	▲ 82	▲ 46	▲ 36
配当金支払	▲ 60	▲ 52	▲ 8
現金及び現金同等物に係る換算差額	36	▲ 12	48
現金及び現金同等物の増減	▲ 103	▲ 110	6
現金及び現金同等物の期首残高	357	467	▲ 110
連結範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減	16	-	16
現金及び現金同等物の期末残高	269	357	▲ 87

連結 2013年度 予想

【単位:億円】

	2013年度 (予想)	2012年度 (実績)	増減	増減率
売上高	5,300	4,679	620	13.3%
営業利益	160	114	45	40.1%
(持分法利益)	(220)	(190)	(29)	(15.5%)
経常利益	340	276	63	23.0%
税前利益	290	97	192	197.8%
当期純損益	260	▲ 77	337	-

➤ 2013年度為替前提 95円/US\$
(2012年度実績 83円/US\$)

➤ 営業利益は、輸出製品の採算是正、電子工業用薬品の販売数量増加、連結子会社の損益改善などにより、増益を見込む。

➤ 持分法利益は、為替の影響などにより、海外メタノール生産会社を中心に前期を上回る見通し。

➤ 当期純損益は、営業利益の回復、特別損失や税金費用の減少などにより、大幅に改善。

➤ 配当金は、年間12円(前期と同額)を予定。

【単位:円/株】

1株当たり 当期純損益	57.56	▲ 17.25
年間配当金	12.0	12.0

セグメント別 連結 2013年度（予想）



【単位：億円】

	2013年度(予想)			2012年度(実績)			増 減		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上高	2,600	2,700	5,300	2,327	2,351	4,679	272	348	620
天然ガス系化学品	850	919	1,770	812	805	1,618	38	113	152
芳香族化学品	712	691	1,403	651	650	1,301	61	40	102
機能化学品	802	844	1,646	651	674	1,325	150	170	321
特殊機能材	281	292	574	264	267	532	16	24	41
その他	6	4	11	3	5	9	2	▲ 0	1
消去または全社	▲ 53	▲ 52	▲ 106	▲ 55	▲ 52	▲ 108	1	▲ 0	1
営業利益	80	80	160	39	74	114	40	5	45
天然ガス系化学品	5	15	21	▲ 6	24	17	11	▲ 8	3
芳香族化学品	10	▲ 1	9	▲ 6	13	7	17	▲ 15	1
機能化学品	52	51	103	44	24	69	7	26	34
特殊機能材	28	29	58	20	21	41	8	7	16
その他	1	1	2	1	2	3	0	▲ 0	▲ 0
消去または全社	▲ 18	▲ 16	▲ 35	▲ 14	▲ 11	▲ 25	▲ 4	▲ 4	▲ 9

(参考)

持分法利益	110	110	220	99	91	190	10	18	29
-------	-----	-----	-----	----	----	-----	----	----	----

配当の推移

		2011年度 (実績)	2012年度 (実績)	2013年度 (予想)
1株当り配当金	第2四半期末	6.0 円	6.0円	6.0円
	期 末	6.0 円	6.0円	6.0円
	合 計	12.0 円	12.0 円	12.0 円
配当金総額	第2四半期末	27億円	27億円	27億円
	期 末	27億円	27億円	27億円
	合 計	54億円	54億円	54億円
1株当り当期純利益	期 末	27円28銭	▲ 17円25銭	57円56銭
配当性向(連結)	合 計	44.0%	-	20.8%

天然ガス系化学品

【単位:億円】

	2011年度(実績)			2012年度(実績)			2013年度(予想)		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上高	777	822	1,599	812	805	1,618	850	919	1,770
営業利益	4	▲0	3	▲6	24	17	5	15	21

2012年度(実績)

▶ 化成品、有機化学品

メタノールは、市況が堅調に推移し増収。メタノール・アンモニア誘導品は、ネオペンチルグリコール(NPG)やMMA系製品が低調に推移するも、減価償却方法の変更などにより、増益。

▶ エネルギー資源、生物化学

エネルギー資源については、原油販売価格が堅調に推移し、増収増益。

コエンザイムQ10は、2012/10/2発表のとおり、2013年3月末にて事業撤退。2012年度の生物化学事業は低調な収益に終わる。

2013年度(予想)

メタノールは、円高是正の効果などにより増収。NPGやMMA系製品は、輸出環境の改善による損益回復を見込む。

アンモニアの構造改革については、自社プラントを停止し、外部調達に切り替える方向で、具体策(停止時期・外部調達方法・必要な設備投資)の検討を進める。

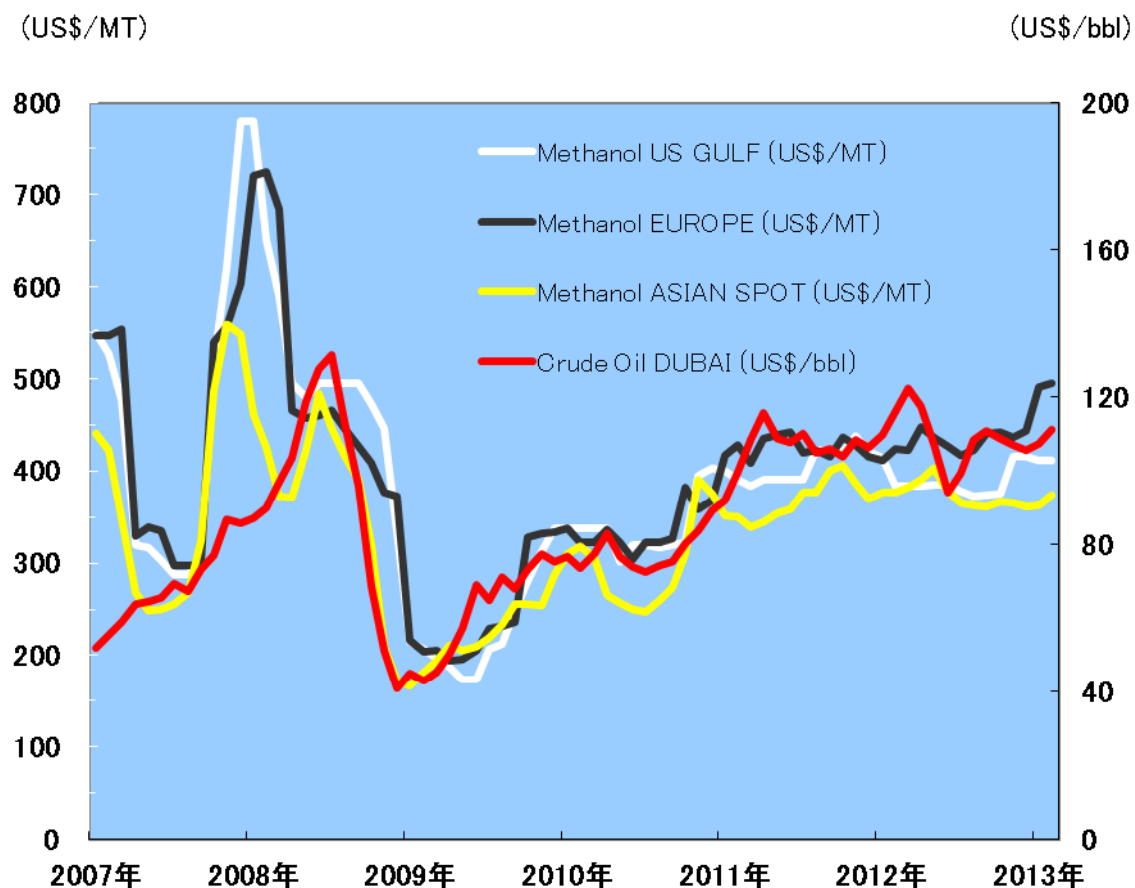
原油販売は引き続き堅調に推移も、減価償却費の増加などにより減益を想定。

コエンザイムQ10の構造改革の効果として、2013年度より撤退に伴う固定費削減を見込む。

天然ガス系化学品

メタノール価格の推移、持分法利益の動向

メタノール/原油価格の推移



メタノール市況/持分法利益の動向

2012年度（実績）

燃料用途やMTOによる需要伸長、イラン産メタノールの出荷制限などにより、タイトな需給バランスが継続。原油価格の影響も受け、市況は堅調に推移。

持分法利益は、税金費用のプラス調整のあった前期をやや下回った。

2013年度（予想）

タイトな需給バランスは継続も、中国の石炭市況の軟化などにより、メタノール市況はやや下落すると予想。

アジアスポット平均価格(前提) 350US\$/MT

持分法利益は、円高是正もあり、増益を見込む。

天然ガス系化学品

設備投資・製品開発動向など

- ◇ メタノール/ジメチルエーテル(DME)
 - ・ トリニダード・トバゴにてメタノール/DMEの製造事業F/Sを開始
 - ・ メタノール100万トン、DME10万トンの製造事業を検討
 - ・ 2013年度中に最終投資判断、2016年度中の生産開始を目指す

- ◇ Di-TMP
 - ・ 市場規模3,000t/y、主要用途はUV硬化型インク
 - ・ 水島工場にて4月初から試運転を開始

- ◇ 抗体医薬
 - ・ 台湾の抗体医薬品開発ベンチャーと業務提携
 - ・ 新潟研究所にベンチ設備を完工、CRO(抗体製造プロセス開発受託事業)参入へ

- ◇ ピロロキノリンキノン(PQQ):健康食品素材
 - ・ 米国でのマーケティングが進展中
 - ・ 市場の反応を踏まえ、将来の大型設備建設を検討

芳香族化学品

【単位:億円】

	2011年度(実績)			2012年度(実績)			2013年度(予想)		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上高	684	587	1,271	651	650	1,301	712	691	1,403
営業利益	7	▲17	▲10	▲6	13	7	10	▲1	9

2012年度(実績)

▶ 特殊芳香族化学品

MXナイロンや芳香族アルデヒドの海外向け、メタキシレンジアミン(MXDA)の国内向け販売が低調に推移するも、減価償却方法の変更により増益。

▶ 汎用芳香族化学品

高純度イソフタル酸(PIA)などの汎用芳香族化学品は、年度後半の円高是正や、減価償却方法の変更などにより、損益は改善。

なお、2013/3/19発表のとおり、PIA/原料メタキシレン(MX)は、大幅な生産能力の縮小を決定。

2013年度(予想)

MXナイロンや芳香族アルデヒドの海外向け販売数量、MXDAの輸出採算が回復する見込み。一方、無水ピロメリット酸は競合環境の悪化により減益の見通し。

特殊芳香族全体としては前期並みの損益を想定。

11月末を以って、PIAは22→7万t、MXは22→15万t体制に縮小。2013年度のPIA販売数量は約15万tを想定。

設備の減損などにより固定費は減少も、原料キシレンのコストアップにより低マージンが継続、損益改善は小幅に留まる見込み。

構造改革の効果が年間通じて現れるのは、2014年度以降となる。

芳香族化学品 設備投資・製品開発動向など

- ◇ MXDA-MXナイロンチェーンの強化・拡大
 - ・ MXナイロン系新グレード(LEXTER®)などによる新たな市場の獲得
- ◇ 超強酸技術などの固有技術を生かした水島工場の基盤強化
 - ・ 新規芳香族アルデヒドの開発推進
- ◇ 核水添ポリカルボン酸
 - ・ LED封止材やディスプレイ部材向けの原料モノマーとして実需化
 - ・ 水島工場でセミコマーシャル生産開始・拡販中
- ◇ 高耐熱性無色透明ポリイミドフィルム「ネオプリム®」
 - ・ フレキシブルディスプレイ、液晶パネルのガラス基板代替材料向けなどに市場開発を推進中
 - ・ フィルムメーカーとの提携・協業を模索

機能化学品

【単位：億円】

	2011年度（実績）			2012年度（実績）			2013年度（予想）		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上高	602	618	1,221	651	674	1,325	802	844	1,646
営業利益	37	37	75	44	24	69	52	51	103

2012年度（実績）

2013年度（予想）

➤ 無機化学品

工業用無機薬品は、主力の過酸化水素が、国内需要低迷のため販売数量が減少、減収減益。

電子工業用薬品は、超純過酸化水素が、海外需要の伸長により増収増益。ハイブリッドケミカルは、半導体向けの販売数量が前期に比べて増加、増収増益。海外子会社も、総じて増収増益。

➤ エンジニアリングプラスチックス

ポリカーボネート(PC)は、震災影響があった前期に比べ販売数量が増加するも、上海子会社の損益が厳しく、減益。

ポリアセタール(POM)は、市況悪化により減益。

PCシート・フィルムは、FPD向けフィルムは前期並み、ハードコートシートの販売数量減少などにより、減収減益。

過酸化水素は、引き続き低調な国内需要を見込む。

超純過酸化水素は、海外需要が引き続き堅調に推移。ハイブリッドケミカルは、半導体向けの販売数量増加を見込む。電子工業用薬品の海外子会社も、半導体向けを中心として販売数量増加を見込む。

以上により、無機化学品事業は増収増益を想定。

特殊PCの販売数量増加や上海子会社の稼働上昇などを見込む。

POMは、増設による販売数量増加を想定。

PCシート・フィルムは、FPD向け新規グレードの販売数量増加を見込む。

以上により、合成樹脂事業は増収増益を想定。

機能化学品

設備投資・製品開発動向など

◇ 電子工業用薬品

- ・ 超純過酸化水素は、海外製造拠点(米・韓・台・シンガポール)で、かねてより進めてきた能力増強が完了、合計95,000t/y増、順次認定作業中
- ・ ハイブリッドケミカルは、半導体や液晶分野における次世代トレンドの把握、有力顧客の技術ロードマップに対応したスピーディな開発

◇ レンズモノマー

- ・ 高屈折率品の更なる拡販と汎用グレードの開発、ラインナップの充実

◇ ポリカーボネート

- ・ 鹿島工場にて付加価値の高い特殊PCの製造・試作に注力、PC事業全体の収益力強化に貢献

◇ ポリアセタール

- ・ タイ4万t/y(2013年2Q)、韓国3.5万t/y(2014年1Q)の増設、安全立ち上げ・垂直稼働を目指す

◇ OPE(オリゴフェニレンエーテル)

- ・ 優れた電気特性・耐熱性・加工性を生かし、次世代電子材料として用途開発を加速

特殊機能材

【単位:億円】

	2011年度 (実績)			2012年度 (実績)			2013年度 (予想)		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上高	282	236	518	264	267	532	281	292	574
営業利益	34	3	37	20	21	41	28	29	58

2012年度 (実績)

➤ 電子材料

半導体パッケージ向けBT材料は、汎用分野の需要低迷により販売数量が減少。

一方、スマートフォンなど高機能分野向け販売数量は増加し、子会社含め、損益は前期並み。

➤ 脱酸素剤

非食品用途は前期に比べ販売数量が減少も、国内外の食品分野が堅調に推移し、増益。

2013年度 (予想)

BT材料は、高機能分野への更なる拡販、汎用分野の回復、円高是正などにより増収増益を見込む。

なお、タイの第2拠点については、2014年度以降の収益貢献となる予定。

個包装化の拡大、海外の食品分野や非食品用途などへの拡販により、増収増益を見込む。

特殊機能材

設備投資・製品開発動向など

◇ BT材料

- ・ タイに第2拠点(MGCエレクトロテクノ タイランド)、2013年6月完工
月産25万㎡、2014年初より商業運転開始予定
- ・ 製品開発の迅速化と生産技術の深化発展を目的として、
MGCエレクトロテクノ(福島県)に、試作研究棟の建設を決定
- ・ 低熱膨張(Low CTE)材・高T_g材・高弾性率材の開発推進と採用拡大

◇ エージレス®

- ・ 食品の個包装化に対応した超小型グレードを拡充、市場展開中

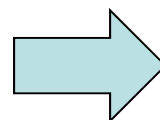
◇ ファーマキープ®

- ・ 医薬品・医療用具向けの脱酸素剤
薬効成分の性能維持などに優れ、製薬会社などに展開中

新規事業の創出と育成の加速

● 「2021年のありたい姿」を実現するために

1. MGC内のシナジー活用
2. MGCにとっての新規事業分野の獲得
3. 1,000億円規模の売上高増



未来事業創出プロジェクトのスタート

● 未来事業創出プロジェクトの進捗状況

○新規構造材

- ・ 電気用、光学用、軽量化用などに有望な新規モノマー/ポリマーを複数開発中

○次世代電池材料

- ・ 固体電解質の開発、今秋にはサンプル配布を目指す

○医療包材ソリューション

- ・ ガラス代替を狙ったガスバリア性樹脂容器
- ・ 多層射出ブロー成型試験機導入、医薬メーカーへサンプル提供、求評中

セグメント別 連結経常利益の推移

【単位:億円】

	2011年度（実績）			2012年度（実績）			2013年度（予想）		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
経常利益	162	99	261	112	164	276	170	170	340
天然ガス系化学品	81	70	152	65	94	159	87	86	174
芳香族化学品	1	▲ 23	▲ 21	▲ 11	2	▲ 8	5	▲ 6	▲ 1
機能化学品	44	40	84	45	21	67	50	59	110
特殊機能材	33	3	37	19	24	44	28	28	56
その他	9	6	16	7	7	15	9	11	20
消去または全社	▲ 9	1	▲ 7	▲ 14	13	▲ 1	▲ 10	▲ 9	▲ 20

各種指標 (1)

1. 各種指標推移(連結)

(億円)

	2005年度 実績	2006年度 実績	2007年度 実績	2008年度 実績	2009年度 実績	2010年度 実績	2011年度 実績	2012年度 実績	2013年度 予想
設備投資額 (うち第2四半期累計)	175 (132)	295 (147)	394 (160)	351 (193)	276 (141)	354 (146)	424 (224)	309 (177)	350 (200)
減価償却費 (うち第2四半期累計)	188 (94)	198 (91)	245 (110)	289 (135)	295 (137)	290 (138)	277 (134)	230 (107)	250 (120)
研究開発費 (うち第2四半期累計)	106 (55)	115 (58)	136 (66)	147 (67)	162 (74)	164 (74)	174 (88)	151 (72)	176 (87)
人員(年度末)	4,466人	4,561人	4,686人	4,902人	4,920人	4,979人	5,216人	5,323人	5,420人
1株当たり当期純利益(円/株)	70.98	86.63	87.01	15.30	12.89	41.92	27.28	▲17.25	57.56
ROA(総資産経常利益率)	9.5%	10.5%	10.2%	1.2%	1.4%	6.5%	4.5%	4.6%	5.5%
ROE(自己資本当期純利益率)	14.5%	15.0%	13.7%	2.5%	2.2%	6.9%	4.4%	▲2.8%	8.9%
1株当たり配当額(円) (うち第2四半期末)	10.0 (4.0)	14.0 (6.0)	16.0 (8.0)	16.0 (8.0)	8.0 (4.0)	8.0 (4.0)	12.0 (6.0)	12.0 (6.0)	12.0 (6.0)

2. セグメント別 設備投資額・減価償却費(連結)

(億円)

		2005年度 実績	2006年度 実績	2007年度 実績	2008年度 実績	2009年度 実績	2010年度 実績	2011年度 実績	2012年度 実績
設備投資額	天然ガス系化学品	26	62	56	107	71	140	139	63
	芳香族化学品	47	75	172	106	77	45	47	57
	機能化学品	69	87	74	91	81	148	216	150
	特殊機能材	32	70	92	47	45	18	18	33
	その他	0	0	0	0	1	3	1	3
減価償却費	天然ガス系化学品	45	46	54	64	75	86	77	62
	芳香族化学品	36	37	52	77	79	78	77	58
	機能化学品	71	80	96	97	86	80	84	77
	特殊機能材	35	36	42	51	51	42	35	27
	その他	0	0	0	0	4	4	3	3

各種指標(2)

3. 業績前提

	2005年度(実績)		2006年度(実績)		2007年度(実績)		2008年度(実績)		2009年度(実績)	
	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期
メタノール (US\$/MT)	279	238	276	376	332	398	424	336	195	246
原料キシレン (US\$/MT)	690	740	1,000	870	960	950	1,200	600	770	870
ビスフェノールA (US\$/MT)	1,200 ~2,000	1,000 ~1,300	1,200 ~1,600	1,600 ~1,700	1,800 ~2,000	1,800 ~2,000	1,800 ~2,000	800 ~1,500	1,000 ~1,300	1,200 ~1,700
ポリカーボネート (US\$/MT)	3,200 ~3,300	3,000 ~3,300	2,900 ~3,100	2,400 ~2,750	2,600 ~2,850	2,400 ~2,850	2,450 ~2,850	1,900 ~2,450	1,900 ~2,400	2,400 ~2,900
為替(円/US\$)	110	117	115	119	119	109	106	95	96	90

	2010年度(実績)		2011年度(実績)		2012年度(実績)		2013年度(予想)		備考
	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	
メタノール (US\$/MT)	283	307	349	385	385	364	350	350	アジアスポット平均 価格
原料キシレン (US\$/MT)	830	1,050	1,260	1,280	1,190	1,320	1,340	1,340	スポット価格 (FOB-Korea)
ビスフェノールA (US\$/MT)	1,800 ~2,100	2,100 ~2,500	2,000 ~2,500	1,400 ~1,800	1,500 ~1,800	1,600 ~2,000	1,800 ~2,000	1,800 ~2,000	主要平均CIF価格
ポリカーボネート (US\$/MT)	2,450 ~2,950	2,400 ~2,900	2,800 ~3,000	2,600 ~2,900	2,500 ~2,800	2,500 ~2,800	2,500 ~2,800	2,500 ~2,800	
為替(円/US\$)	89	82	80	78	79	87	95	95	

お問い合わせ先

三菱ガス化学株式会社
広報IR部

TEL 03-3283-5041

<http://www.mgc.co.jp/>

<見通しに関する注意事項>

当資料に記載されている内容は、いくつかの前提に基づいたものであり、将来の計画数値や施策の実現を確約したり保証したりするものではありません。